

専門研修プログラム名	社会医療法人あさかホスピタル精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	社会医療法人あさかホスピタル	
プログラム統括責任者	水野 雅文	

専門研修プログラムの概要	当院は、昭和38年に創立し63年に亘り地域での精神科医療を担ってきた。診療圏域は、福島県の県中・県南地域が中心になっている。許可病床454床で、地域の精神科基幹病院として精神科救急医療に積極的に取り組み、地域医療支援にも力を入れている。難治性精神疾患治療(m-ECT、クロザリル)を行い、措置入院や医療観察法の鑑定入院、通院処遇にも対応している。日本老年精神医学会専門医制度認定施設、子どものこころ専門医研修施設群に登録されている。児童・思春期領域では、こどもの心センターとして外来、児童思春期病棟、デイケア、学習支援などを行い、更に関連施設の総合発達支援センター「Alba」とも連携しており、児童思春期の包括チームによる医療支援を経験できる。認知症ケア体制としては、福島県認知症疾患医療センターの指定を受け、メモリークリニック、認知症治療病棟を有している。郡山市認知症初期集中支援事業等を受託しており認知症診断・治療の経験もできる。併設施設として介護老人保健施設、関連法人に複数の介護施設を有し高齢者の医療介護連携も習得できる。また、当院が平成14年に始動した「ささがわプロジェクト」では、統合型精神科地域治療プログラム(Optimal Treatment Project:OTP)に基づき、90人の長期入院の方々が地域移行する先進的な取り組みであり、デイケア、訪問看護の医療サービス、生活支援や就労訓練を包括的に行っており、充実した精神科地域医療支援を経験できる。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	研修期間中、指導医のもとで助言や直接的な指導などを受けて患者の診療にあたっていく。研修の3年間で大学病院、総合病院精神科、もしくは基幹施設以外の精神科専門病院で研修を行う。専攻医には研修期間を通じて症例検討会、学会等での発表の機会が提供される。薬物療法、脳神経画像読影など生物学的アプローチだけでなく、認知行動療法、森田療法などの精神療法、精神科リハビリを含む社会的アプローチの研修など、専門医の取得のみでなく、将来を見据えた研修を提供する。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	1)患者及び家族との面接:面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を維持する。2)診断と治療計画:精神・身体症状を的確に把握して診断・鑑別診断し、適切な治療を選択する。3)薬物療法:向精神薬の効果・副作用・薬理作用を習得し、患者に対する適切な選択、副作用の把握と予防及び効果判定ができる。4)精神療法:患者の心理を把握するとともに、治療者と患者の間に起る心理的相互関係を理解し、適切な治療を行い、家族との協力関係を構築できる。各種精神療法を施行できる。5)補助検査法:病態や症状の把握及び評価のためのMRI読影、脳波の判読、各種心理テスト、症状評価表などができる。6)精神科救急:精神運動興奮状態、急性中毒、離脱症候群等への対応と治療ができる。7)法と精神医学:精神保健福祉法全般を理解し、行動制限事項について把握できる。8)リエゾン・コンサルテーション精神医学:他科の身体疾患を持つ患者の精神医学的診断・治療・ケアについて適切に対応できる。9)心理社会的療法、精神科リハビリテーション、および地域精神医療:患者の機能の回復、自立促進、健康な地域生活維持のための種々の心理社会的療法やリハビリテーションを実践できる。10)各種精神疾患について、必要に応じて指導医から助言を得ながら、主治医として診断・治療ができ、家族に説明することができる。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	1)カンファレンスなどを通して病態と診断過程を理解し、治療計画作成の理論を学ぶ。2)研修会や学会発表などを通じて知識や技能を習得し、専門医試験に合格可能な実力を備える。

	学問的姿勢	1)自己研修とその態度、2)精神医療の基礎となる制度、3)チーム医療、4)情報開示に耐える医療について生涯にわたって学習し、自己研鑽に努める姿勢を涵養する。そのことを通じて、科学的思考、課題解決型学習、生涯学習、研究などの技能と態度を身につけその成果を社会に向けて発信できるようにする。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	1)患者、家族のニーズを把握し、患者の人権に配慮した適切なインフォームドコンセントが行える。2)病識のない患者に対して、人権を守る適切な倫理的、法的対応ができる。3)精神疾患に対するスティグマを払拭すべく社会的啓発活動を行う。4)多職種で構成されるチーム医療を実践し、チームの一員としてあるいはチームリーダーとして行動できる。5)他科と連携を図り、他の医療従事者との適切な関係を構築できる。6)医師としての責務を自立的に果たし信頼される。7)診療記録の適切な記載ができる。8)患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に貢献する。9)臨床現場から学ぶ技能と態度を習得する。10)学会活動・論文執筆を行い、医療の発展に寄与する。11)後進の教育・指導を行う。12)医療法規・制度を理解する。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年目:指導医とともに、統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。特に面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。入院患者を指導医のもと受け持ち、入院形態や行動制限の手続きなど、基本的な法律の知識を学ぶ。外来業務では、指導医のもと患者との関係の構築の仕方、補助検査法、基本的な心理検査の評価などを学ぶ。院内の症例検討会や学会で発表・討論する。2年目:指導医の指導を受けつつ、自立して面接や診断と治療計画の能力を充実させる。薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。連携施設においてリエゾン・コンサルテーション精神医学を経験する。神経症性障害およびアルコール・薬物依存症など種々の依存症患者の診断・治療を経験する。院内研究会や学会で発表・討論する。3年目:指導医から自立して診療できるようにする。認知行動療法や力動的な精神療法を上級者の指導の下に実践する。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。統合型地域精神科治療プログラム(OTP)、心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。また、児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表をする。
	研修施設群と研修プログラム	当院を基幹施設とし、大学病院、総合病院、精神科専門病院の15施設群から構成され、質の高い研修を受けることができる。
	地域医療について	病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療、地域医療などでの医療システムや福祉システムを理解する。具体的には、基礎疾患により通院困難な場合の往診医療、精神保健福祉センター及び保健所等関係機関との協働や連携パスなどを学び、経験する。また、社会復帰関連施設、地域活動支援センター等の活動について実情とその役割について学び、経験する。

専門研修の評価	当該研修施設での研修修了時に、専攻医は研修目標の達成度を評価する。その後に研修指導医は専攻医を評価し、専攻医にフィードバックする。その後に研修指導責任者に報告する。また、研修指導責任者は、その結果を当該施設の研修委員会に報告し、審議の結果を研修プログラム管理委員会に報告する。1つの研修施設での研修が1年以上継続する場合には、少なくとも1年に1度以上は評価し、フィードバックを行う。基幹施設の研修指導責任者は、年度末に1年間のプログラムの進行状況ならびに研修目標の達成度について、専攻医に確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を研修プログラム管理委員会に提出する。研修指導医は、専攻医が当該研修施設での研修中及び研修終了時に、専攻医を指導した内容について指導医コメント欄に具体的な指導内容やコメントを記載する。その際の専攻医の研修実績および評価の記録には研修実績管理システムを用いる。指導医は、常に専攻医の育成を心がけ、専攻医の要請に応じて指導を随時行う。	
修了判定	研修基幹施設の研修プログラム管理委員会において、知識・技能・態度それぞれについて評価を行い、総合的に修了を判定する。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修プログラムの作成や施行上の問題点の検討や再評価を継続的に行う。また各専攻医の統括的な管理や評価を行う。また専攻医および指導医によって研修実績管理システムに登録された内容に基づき専攻医および指導医に対して助言を行う。
	専攻医の就業環境	研修施設は、専攻医の心身の健康維持に配慮する。そのため勤務時間の管理や休日の保証、当直・時間外診療業務のバックアップ体制、適切な待遇等、研修に支障がないように配慮する。
	専門研修プログラムの改善	専攻医による評価やサイトビジット等の評価を受けて、プログラム管理委員会の検討を経て改善される。
	専攻医の採用と修了	日本国の医師免許を有し、初期研修の修了を採用の要件とし、履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の判断をする。修了については、研修ガイドラインに則って3年以上の研修を行い、研修の結果どのようなことができるようになったかについて専攻医と研修指導医が評価する研修項目表による評価と、多職種による評価、経験症例数リストの提出を行い、研修プログラム統括責任者により受験資格が認められたことをもって修了したものとする。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	日本専門医機構による「専門医制度整備指針(第三版)Ⅲ-1-(4)記載の特定の理由のために専門研修が困難な場合は、申請により、専門研修を中断することができる。6ヶ月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要しない。また、6ヶ月以上の中断の後、研修に復帰した場合でも、中断前の研修実績は、引き続き有効とされる。他のプログラムへ移動しなければならない特別な事情が生じた場合は、精神科専門医制度委員会に申し出ることとする。精神科専門医制度委員会で事情が承認された場合は、他のプログラムへの移動が出来るものとする。また、移動前の研修実績は、引き続き有効とされる。
	研修に対するサイトビジット(訪問調査)	研修委員会には医師のみでなく、メディカルスタッフも参加することとする。また、研修施設は日本精神神経学会によるサイトビジットを受けることや調査に応じる。

専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	佐久間 啓(社会医療法人あさかホスピタル 理事長)、水野 雅文(同・院長)、新国 茂(同・副院長)、熊坂 忠則(同・総合心療科部長)、喜田 恒(同・地域診療部長、医局長)、佐久間 睦貴(同・児童思春期診療部長)、辻井 崇(同・総合心療科副部長)、三浦 至(福島県立医科大学附属病院 教授)、菊地 俊暁(慶應義塾大学病院 准教授)、根本 隆洋(東邦大学医療センター大森病院 教授)
Subspecialty領域との連続性	精神科サブスペシャリティは、基本的には精神科専門研修を受け、精神科領域専門医となった者がその上に立って、より高度の専門性を獲得することを目指すものとする。

社会医療法人あさかホスピタル精神科専門研修プログラム

	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
Aコース	あさかホスピタル	大学病院 「大学病院」一覧より1施設選択	あさかホスピタル
	研修期間：1年	研修期間：1年	研修期間：1年
Bコース	あさかホスピタル		大学病院 「大学病院」一覧より1施設選択
	研修期間：2年		研修期間：1年
Cコース	あさかホスピタル		大学病院 「大学病院」一覧より1施設選択
	研修期間：2年6ヶ月～9か月		研修期間：3ヶ月～6か月
Dコース	あさかホスピタル	総合病院 「総合病院」一覧より1施設選択	あさかホスピタル
	研修期間：1年	研修期間：1年	研修期間：1年
Eコース	あさかホスピタル		総合病院 「総合病院」一覧より1施設選択
	研修期間：2年		研修期間：1年
Fコース	あさかホスピタル		総合病院 「総合病院」一覧より1施設選択
	研修期間：2年6ヶ月～9か月		研修期間：3ヶ月～6か月

【施設一覧】

大学病院	福島県立医科大学附属病院 慶應義塾大学病院 東邦大学医療センター大森病院 東邦大学医療センター佐倉病院 福岡大学病院 東北医科薬科大学病院
総合病院	済生会横浜市東部病院 国家公務員共済組合連合会立川病院 日本赤十字社栃木県支部足利赤十字病院 公益財団法人星総合病院

※研修ローテーションパターンとなるが、上記以外にも多彩なニーズに柔軟に応じたローテーションの組み合わせが可能である。

社会医療法人あさかホスピタル精神科専門研修プログラム

いずれの施設においても、就業時間は週 40 時間以内である。やむを得ず週 40 時間を超える場合は、36 協定を結んだ上で実施される。

A 社会医療法人あさかホスピタル

週間スケジュール 36 時間/週

	月	火	水	木 *1	金	土
8:30-12:00	病棟業務	9:00-10:00 救急病棟ミーティング *2 10:00-12:00 病棟業務	外来陪席	休み	病棟業務	外来陪席
12:00-13:00						病棟業務
13:00-17:30	救急外来業務 病棟業務	13:00-17:00 病棟業務 17:00-17:30 医局会 (症例検討会) (医局研修会)	病棟業務		救急外来業務 病棟業務 OTP 会議 *3	休み

- *1：勤務日については、相談の上決定する。
- *2：救急病棟における多職種ケース検討会に参加する。
- *3：第3金曜午後の OTP 会議において年間 1 症例発表を行い、学会報告に備える。

年間スケジュール

4月	オリエンテーション 前年度研修報告書提出、指導医の指導実績報告書提出 日本うつ病リワーク協会年次大会（任意）
5月	
6月	日本心身医学会総会・学術講演会（任意）、日本老年精神医学会（任意） 日本精神神経学会学術総会（任意）、福島県精神科病院協会定期総会特別講演会（任意）
7月	日本思春期青年期精神医学会学術集会（任意）、日本精神科医学会学術大会（任意） 東北精神神経学会（任意）
8月	日本うつ病学会（任意）、日本発達障害学会（任意）
9月	日本神経心理学会学術集会（任意）、日本重症心身障害学会学術集会（任意） 日本早期認知症学会学術大会（任意）、日本認知症予防学会学術集会（任意） 日本精神科救急学会学術総会（任意） あさかフェス（院内行事）
10月	日本てんかん学会学術集会（任意）、日本児童青年精神医学会（任意）
11月	福島県精神医療懇話会（任意）、日本精神保健・予防学会学術集会（任意） 日本小児精神神経学会学術集会（任意）
12月	日本認知症学会学術集会（任意）、日本心療内科学会・学術大会（任意） クリスマスコンサート（院内行事）
1月	もちつき大会（院内行事）
2月	日本不安症学会学術大会（任意）、福島県精神医学会参加（任意）
3月	日本集団精神療法学会（任意）、日本統合失調症学会（任意） 日本社会精神医学会（任意）、福島県医師会メンタルヘルスシンポジウム（任意） 研修プログラム評価報告書の作成
その他	医局会（週1回） 医局症例検討会（月1回） 医局研修会（月1回） Optimal Treatment Project 会議（月1回） レジデントクルズ（週1回） 救急病棟ミーティング（週1回） 家族教室講義担当（年1回） 児童思春期集中研修（3カ月） 外来児童カンファレンス（月1回） 児童病棟カンファレンス（週1回） 児童思春期症例検討会（月1回） 児童病棟でのレクリエーション（週1回） 福島医大精神医学教育を考える会（週1回 WEB 研修） 慶應義塾大学専攻医向けクルズ（週1回 WEB 研修）

B 福島県立医科大学 附属病院

週間スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30～	朝会 病棟朝回診	連携施設へ の診療応援	朝会 病棟朝回診	朝会 病棟朝回診	朝会 病棟朝回診
10:00～	病棟業務	連携施設 外来診療	新患予診・ 本診陪席	再来診療	他科回診/ リエゾン診療
12:00～	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩	昼食休憩
13:00～	病棟連絡会	連携施設 病棟業務	病棟業務	病棟業務	他科回診/ リエゾン診療
14:00～	症例検討会				
15:00～	総回診				
16:00～	医局会				
16:30～ 17:15	勉強会/抄読会		病棟グループ カンファ/ 夕回診	病棟グループ カンファ/ 夕回診	病棟グループ カンファ/ 夕回診

※就業時間：週 40 時間

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2, 3 前年度研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出 研修医グラウンドラウンド（毎月開催） 月 2 回の教育セミナー開催（web 会議システム）
5 月	日本トラウマティック・ストレス学会（任意） 東北精神神経学会演題応募
6 月	日本薬物脳波学会（任意）
7 月	講座主催特別講演参加 福島県 ADHD 治療研究会（任意）、東北精神神経学会参加（任意）
8 月	
9 月	日本心身医学会東北地方会（任意）、日本生物学的精神医学会（任意）
10 月	SR1・2・3 研修中間報告書提出
11 月	福島県精神医学会学術大会演題応募 日本臨床神経生理学会（任意）、日本臨床精神神経薬理学会（任意）
12 月	研修プログラム管理委員会開催 講座主催特別講演参加
1 月	
2 月	福島県精神医学会学術大会 演題発表 日本心身医学会東北地方会（任意）
3 月	日本統合失調学会（任意） SR1・2・3 研修報告書 件数プログラム評価報告書の作成

C 慶應義塾大学病院

週間スケジュール 38 時間 30 分/週

	月	火	水	木	金	土 (第 2, 4, 5)
8 : 30- 9 : 00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
9 : 00- 10 : 00	外来・ 病棟業務	外来・ 病棟業務	外来・ 病棟業務	外来・ 病棟業務	外来・ 病棟業務	外来・ 病棟業務
10 : 00- 11 : 00			病棟カンファ			
11 : 00- 12 : 00			外来・ 病棟業務			
13 : 00- 15 : 00	病棟業務 (リエゾン 含む)	病棟業務 (リエゾン 含む)	入退院 カンファ	病棟業務 (リエゾン 含む)	病棟業務 (リエゾン 含む)	病棟業務 (リエゾン 含む)
15 : 00- 16 : 00			教授回診			
16 : 00- 16 : 30			病棟業務 (リエゾン 含む)			
17 : 00- 18 : 00			リエゾンカン ファ・抄読会 症例検討会 ・通年講義			

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出
5 月	教室研究会（プログラム全体）参加
6 月	ポートフォリオ面談での形成的評価 前年度研修実績報告書提出 日本精神神経学会学術総会参加
7 月	学会参加推奨
8 月	
9 月	教室研究会（プログラム全体）参加
10 月	ポートフォリオ面談での形成的評価 SR1・2・3 研修中間報告書提出
11 月	学会参加推奨
12 月	研修プログラム管理委員会参加 教室研究会参加
1 月	ポートフォリオ面談での形成的評価
2 月	
3 月	研修プログラム評価報告書の作成 SR1・2・3 研修報告書の作成 教室研修会（プログラム全体）参加 東京精神医学会参加

D 東邦大学医療センター大森病院

週間スケジュール 32 時間/週

	月	火	水	木	金	土
8:30- 9:00	モーニング カンファレンス	モーニング カンファレンス			モーニング カンファレンス	モーニング カンファレンス
9:00- 12:00	病棟業務	初診陪審	連携施設外勤	連携施設外勤	病棟業務	病棟業務
12:00- 13:00						病棟業務 (14時まで)
13:00- 17:00	・ケースプレゼン テーション ・回診 ・医局会	病棟業務	病棟業務	連携施設外勤	病棟業務	
17:00- 17:30	・ケースカンファレンス ・ジャーナルクラブ ・クルズス	リサーチミーティング (任意)			精神療法セミナー (任意)	

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション
5 月	専攻医クルズス（通年）、大学・病院各種研修会（通年）
6 月	日本精神神経学会参加、東邦医学会参加
7 月	各種学会参加（任意、国内、国外、通年）
8 月	
9 月	OTP 講習会
10 月	専攻医研修中間報告書提出
11 月	東邦医学会参加
12 月	日本精神保健・予防学会参加（任意）
1 月	日本社会精神医学会参加（任意）
2 月	
3 月	東京精神医学会参加、東邦医学会参加、専攻医研修報告書作成

E 東邦大学医療センター佐倉病院

週間スケジュール 36 時間/週

	月	火	水	木	金	土
9:00- 12:00	初診陪席 外来/病棟	初診陪席 病棟回診	初診陪席 病棟回診	研究日	初診陪席 外来/病棟	外来/病棟
休憩						
13:00- 18:00	緩和ケアC F デイケアC F 医局会 リエゾンC F	研究日	D S T C F 精神療法C F 他科合同C F	研究日	周産期C F	外来/病棟

※認知症サポートチーム (Dementia Support Team : D S T)、Conference : C F

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション 千葉総合病院精神科研究会
5 月	
6 月	日本精神神経学会 日本産業精神保健学会 北総精神科医会 (症例検討会) 東邦医学会
7 月	北総精神科医会 (総会) 神経精神セミナー 東京精神医学会
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	日本総合病院精神医学会 北総精神科医会 (症例検討会) 東邦医学会
12 月	日本肥満治療学会 日本精神保健・予防学会
1 月	神経精神セミナー
2 月	北総精神科医会 (症例検討会)
3 月	

F 福岡大学病院

週間スケジュール 週間就業時間：40 時間（8 時間×5 日）

	月	火	水	木	金
8:30～ 9:30	病棟カンファ レンス	病棟カンファ レンス	病棟カンファ レンス	病棟カンファ レンス	病棟カンファ レンス
9:30～ 12:00	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療
	チーム ミーティング	閉鎖病棟カン ファレンス	デイケア	デイケア	チーム ミーティング
13:00～ 17:30	病棟回診	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟コミュニ ティミーティ ング
	症例検討会	リエゾン回診			
	外来カンファ レンス				
	リエゾンカン ファレンス				
	医局会				
	抄読会				

※本スケジュールにおける就業時間は週 40 時間以内（1 日 8 時間）である。

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション
5 月	福岡精神科集談会参加
6 月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7 月	日本うつ病学会参加（任意）
8 月	
9 月	福岡精神科集談会参加 日本臨床精神神経薬理学会学術集会（任意） 日本自殺予防学会（任意）
10 月	
11 月	
12 月	九州精神神経学会参加・発表 医局年末研究会参加
1 月	医局年始研究会参加
2 月	福岡精神科集談会参加
3 月	医局年度末研究会発表 日本社会精神医学会（任意）

G 東北医科薬科大学病院

週間スケジュールの一例

	月	火	水	木	金
8:50 (始業は 8:30)	病棟申し送り	病棟申し送り	病棟申し送り	研究日 (連携施設 での勤務 など)	病棟申し送り
9:00-12:00	病棟業務 児童精神科カンファレンス (任意) 病棟チームカンファレンス	病棟業務 * 新患予診と 本診陪席 * 入院対応	病棟業務 * 新患予診と 本診陪席 * 入院対応		外来 (再診)
12:00-13:00	お昼休み	お昼休み	お昼休み		お昼休み
13:00-17:00	医師カンファレンス 病棟カンファレンス 科長回診 医局・学生カンファレンス	病棟業務 * 院内往診 (リエゾン) * 精神療法	病棟業務 * 院内往診 (リエゾン) * 精神療法		病棟業務 * 院内往診 (リエゾン) * 精神療法
17:00 以降	薬剤説明会 (任意)		オンコール当番		

- * 1 か月単位の変形労働時間制 (交替制) で日勤 (8:30~17:15)・夜勤 (16:00~翌 9:00) ありの週休 2 日制。時間外勤務あり、当直は月 1~2 回程度。勤務時間の上限設定は原則なし (設定時は 155 時間)。
- * 医師カンファレンス: 入院・外来患者の医学的検討; 病棟カンファレンス: 入院患者や行動制限患者の情報・方針の共有; 医局・学生カンファレンス: クルズス (小講義) や症例発表など
- * 精神療法は認知症、アルコール使用症、統合失調症、気分症 (特にうつ病)、強迫症、PTSD、神経性やせ症などを対象とする (一部は集団精神療法)。
- * 平日週 1 回程度、休日月 2 回程度、指導医のバックアップのもとでオンコール当番を行う。
- * 外来は 0.5-2 日/週 (年次等による)。
- * 適宜、公認心理師や精神保健福祉士からのミニレクチャー (心理検査、精神保健福祉法・社会資源制度など) が開催される場合がある。

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション
5 月	
6 月	日本精神神経学会
7 月	
8 月	
9 月	連携施設合同カンファレンス参加 (指導医)
10 月	研修中間報告書提出 (指導医)、東北精神神経学会
11 月	
12 月	研修プログラム管理委員会開催 (指導医)、病棟クリスマス会
1 月	病棟新年会
2 月	
3 月	精神科学教室同窓会、研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成 (指導医)

- * 各種学会への参加は任意である。
- * 上記以外でも日本うつ病学会、国際双極症学会、日本社会精神医学会、日本ストレス学会参加、日本精神医学史学会、日本医薬品安全性学会などへの専攻医の参加歴がある。
- * 希望者は、研究活動も並行して行うことが可能である。
- * 希望者は、専攻医プログラムと並行して社会人大学院への進学が可能である。

H 済生会 横浜市東部病院

週間スケジュール 37 時間 30 分/週

	月	火	水	木	金
8 : 30- 9 : 00	モーニング カンファレンス 回診	モーニング カンファレンス 回診	モーニング カンファレンス 回診	モーニング カンファレンス 回診	モーニング カンファレンス 回診
9 : 00- 12 : 00	病棟業務	病棟業務 E C T	他科病棟 リエゾン業務	病棟業務 E C T	外来業務
13 : 00- 17 : 00	カンファレンス 回診 症例検討会 勉強会	病棟業務	他科病棟 リエゾン業務	病棟業務	外来業務
夜間救急					

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション、1 年目専攻医研修開始、2・3 年目専攻医前年研修報告書提出、 指導医の指導実績報告書提出
5 月	
6 月	日本精神神経学会参加
7 月	東京精神医学会参加
8 月	
9 月	OTP 講習会
10 月	専攻医研修中間報告書提出
11 月	東京精神医学会参加、日本総合病院精神医学会参加（任意）
12 月	日本精神保健・予防学会参加（任意）
1 月	日本社会精神医学会参加（任意）
2 月	
3 月	東京精神医学会参加、1・2・3 年目専攻医研修報告書作成

I 国家公務員共済組合連合会 立川病院

週間スケジュール 38 時間 45 分/週

	月	火	水	木	金
8 : 30- 12 : 30	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務
13 : 30- 14 : 00	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
14 : 00- 17 : 15	外来・病棟業務	緩和ケア回診 リエゾン回診	外来・病棟業務	外来・病棟業務	外来・病棟業務
17 : 15- 18 : 10					症例検討会 新入院カンファレンス

※就業時間は週 5 日 38 時間 45 分（1 日あたり 7 時間 45 分）の勤務が基本である。

年間スケジュール

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	共済医学会参加（任意）
11月	日本総合病院精神医学会学術総会参加（任意）
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

J 日本赤十字社栃木県支部 足利赤十字病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8：45～9：30	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス
9：30～12：30	外来又は病棟業務	外来業務 (9：00～12：30)	外来又は病棟業務	外来業務 (9：00～12：30)	外来又は病棟業務
13：30～15：30	外来又は病棟業務	外来業務	外来又は病棟業務	外来業務	外来又は病棟業務
15：30～17：00	外来/病棟カンファレンス	外来/病棟カンファレンス	外来/病棟カンファレンス	外来/病棟カンファレンス	外来/病棟カンファレンス
17：00～18：00		医局会/症例検討会			

※就業時間は、週 40 時間以内である。

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション
5 月	
6 月	日本精神神経学会
7 月	東京精神医学会
8 月	院内研修（CVPPP）
9 月	
10 月	東京精神医学会
11 月	日本臨床精神神経薬理学会 精神科診断学会
12 月	日本臨床薬理学会
1 月	院内研修（アルコール依存症）
2 月	
3 月	東京精神医学会 日本統合失調症学会 総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成

K 公益財団法人 星総合病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診療 (臨床指導)	病棟診療 (臨床指導)	外来診療 (臨床指導)	研究日	精神科病院研修 (外来)	休日	休日
午後	コンサルテーション・カンファレンスなど	地域の社会資源ネットワークへの参加など	医局会・症例検討会など	外来診療 (臨床指導)	精神科病院研修 (病棟)	休日	休日

※週 5 日 40 時間勤務が基本となっている。

原則として 40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

年間スケジュール

4 月	新入職員・研修医オリエンテーション（Ⅰ） (日本統合失調症学会) (日本精神神経学術総会)
5 月	(日本不安症学会学術大会)
6 月	院内学会／集談会参加 (日本心身医学会総会・学術講演会) (日本思春期青年期精神医学会学術集会)
7 月	研修医オリエンテーション（Ⅱ） 福島県精神科病院協会定期総会特別講演会参加 開設記念式典 (日本うつ病学会) (日本老年精神医学会)
8 月	日本総合病院精神医学会リエゾンチーム講習会
9 月	緩和ケア研修会 (福島県内開催) (日本神経心理学会学術集会) (日本重症心身障害学会学術集会) (日本認知症予防学会学術集会) (日本てんかん学会学術集会)
10 月	(日本依存神経精神科学会合同大会) (日本児童青年精神医学会) (日本発達障害学会)
11 月	院内学会／集談会参加 福島県精神医療懇話会参加 (日本精神保健・予防学会学術集会) (日本小児精神神経学会学術集会) (日本認知症学会学術集会) (日本早期認知症学会学術大会)
12 月	(日本心療内科学会・学術大会)
1 月	
2 月	
3 月	(日本集団精神療法学会)
その他	指導医レクチャー (月 1 ～ 2 回) 症例カンファレンス (月 1 回)、医局会 (月 2 回) 精神科リエゾン、認知症ケアカンファレンス (週 1 回程度) 緩和ケアカンファレンス (週 1 回程度)

I 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立松沢病院

週間スケジュール 32 時間/週

	月	火	水	木	金
0830-0930	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診
0930-1200	病棟業務	外来初診	病棟業務	病棟業務	病棟業務
1200-1300					
1330-1700	病棟業務 病棟カンファレンス	病棟業務	病棟業務	外来再診	病棟業務 病棟カンファレンス
	1700-1730 医局会		1600-1800 クルズス		

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション 1 年目専攻医研修開始 2・3 年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5 月	
6 月	日本精神神経学会学術総会参加
7 月	東京精神医学会学術集会参加（任意）
8 月	
9 月	日本生物学的精神医学会年会（任意）
10 月	日本臨床精神神経薬理学会年会（任意）
11 月	日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 東京精神医学会学術集会参加（任意）
12 月	
1 月	
2 月	2 年目専攻生東京医師アカデミー研究発表
3 月	1・2・3 年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加（任意）

M 医療法人財団青溪会 駒木野病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
9：00- 12：00	病棟業務 病棟カンファ	病棟業務	休み	外来業務	病棟業務	病棟業務
12：30- 13：00	医局会（第1）					
	薬の説明会					
13：00- 16：30	病棟業務	病棟業務		病棟業務	病棟業務	病棟業務
16：30- 17：00	医局会（第3） 医局勉強会					

※就業時間は週 40 時間以内である。

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション／指導医の指導実績報告提出
5 月	クルズス
6 月	日本精神神経学会学術総会参加、クルズス
7 月	東京精神医学会学術集会、クルズス
8 月	クルズス
9 月	クルズス
10 月	クルズス
11 月	クルズス
12 月	クルズス
1 月	クルズス
2 月	クルズス
3 月	研修プログラム評価報告書の作成

N 公益財団法人 井之頭病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9：00- 9：10	医局 ミーティング	医局 ミーティング	医局 ミーティング	医局 ミーティング	医局 ミーティング
9：10- 12：30	外来（再診） 陪席	病棟業務	外来（初診・入院） 陪席	病棟業務	院長回診
13：30- 18：00	病棟業務 クルズス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務 クルズス
				医局会議 症例検討会等	

※当院は1日8時間・週5日、40時間勤務が基本となっている。

年間スケジュール

4月	新入職員オリエンテーション 指導医指導実績報告提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	助成研究論文発表会参加
8月	
9月	
10月	院内学会参加 日本臨床精神神経薬理学会参加
11月	日本老年精神医学会大会参加
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

0 医療法人社団慶神会 武田病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:45- 9:30	連絡調整会議 入院患者 申し送り	連絡調整会議 入院患者 申し送り	連絡調整会議 入院患者 申し送り	連絡調整会議 入院患者 申し送り	連絡調整会議 入院患者 申し送り
9:30- 11:00	外来診察	入院診察	外来診察	入院診察	外来診察
11:00- 12:00	入院診察	退院支援委員会 調整会議	入院診察	退院支援委員会 調整会議	入院診察
12:15- 13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00- 14:00	入院診察	入院診察	診療部合同ミー ティング	入院診察	入院診察
14:00- 15:00	病棟スタッフ ミーティング	病棟スタッフ ミーティング	入院集団精神 療法	病棟スタッフ ミーティング	病棟スタッフ ミーティング
15:00- 17:30	入院統合失調症 心理教育	リワークデイケア 心理教育	入院診察	病棟診察	入院気分障害 心理教育
17:30- 18:30	医局会		事例検討会 症例指導		

※医師ごとに週休1日があり、週4日32時間勤務が基本となっている。

年間スケジュール

4月	オリエンテーションおよび入院治療の実際／精神保健福祉法の運用についてのクルズス
5月	入院治療の実際／精神保健福祉法の運用についてのクルズス
6月	入院集団精神療法／集団心理教育プログラムへの参加
7月	川崎市 QOL 研究会（地域周辺医療機関合同研究会）への参加／発表
8月	入職後の振り返り面談・院内合同研究発表会に向けての検討
9月	院内事例検討会における症例発表／集団家族心理教育プログラムへの参加
10月	リワークデイケアプログラムにおける集団認知行動療法への参加
11月	院内合同研究会発表
12月	訪問看護への同行
1月	
2月	これまでの振り返りと残る課題の抽出
3月	研修内容のチェック